

平成29年3月16日

那須烏山市議会議長 渡辺 健 寿 様

文教福祉常任委員会委員長 田 島 信 二

予算審査結果報告書

本委員会に平成29年3月7日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

記

- 1 審査期日 平成29年3月8日（水）及び10日（金）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室
- 3 出席委員 田島信二、小堀道和、望月千登勢、渋井由放、渡辺健寿、樋山隆四郎
- 4 説明のための出席者
市民課長 佐藤加代子、福祉事務所長兼健康福祉課長 福田守、こども課長 齋藤進、学校教育課長 岩附利克、生涯学習課長 柳田啓之、文化振興課長 両方裕、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課の平成29年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出予算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・マイナンバーを利用した各種証明書のコンビニ交付化など市民にとって便利なサービスを提供し、将来的な経費削減のためにも、マイナンバーカードの普及に努められたい。
- ・健康福祉課やこども課等と連携し、市民サービスの向上に努められたい。

健康福祉課

- ・地域住民の支え合いで成り立つふれあいの里や、自ら疾病を予防する健康マイレージ等、市民の健康を維持するための事業のさらなる発展を期待する。

こども課

- ・出産後も保護者が安心して子どもを預け働くことのできる環境を整えるために、要望の多い2歳児までの保育を行う地域型保育事業所の増設や、公立幼稚園・保育園の認定こども園化に向け取り組まれたい。

学校教育課

- ・県立である烏山高校については、通学費の補助をするのではなく、魅力ある学校づくりに向け費用を抑えた支援をされたい。

- ・地域に開かれた小中学校にするために、市在住の元教師や市民が理科や家庭科の授業、図書室業務に補助として入る機会を多くつくれるよう学校へ働きかけられたい。

生涯学習課

- ・なすから英語塾の事業を拡大したり、国際交流協会のより自由な活動展開を目的に現在市が持っている事務局を協会へ移管したりすることにより、さらなる国際化を目指されたい。国際化に向けた取り組みとして、山あげ祭時には英語塾受講生による観光案内を実施したとのことだが、市在住の外国人や市と協定を結ぶ大学に通う外国籍の学生を招待し、受講生と一緒に中高生も案内できるような方法も検討されたい。
- ・市民の協力を得た図書館運営や、烏山地区の市が管理する公民館の集約化や自治会への譲渡等、市全体の公共施設の平準化を考慮しながら経費削減につながるような方策を取られたい。

文化振興課

- ・国指定の史跡を目指し、烏山城跡のさらなる調査研究を進められたい。
- ・ジオパークの認定に向けた準備に尽力されたい。また、制作が予定されるPR動画については、本市の大地の素晴らしさを市内外に広く伝えることのできるよう工夫されたい。